

日時 2019年 **3月10日**(日) 13:00~17:00 (開場12:15)

会場 三井住友銀行東館  
SMBCホール ホールB  
東京都千代田区丸の内1-3-2

地下鉄「大手町駅」C14出口を地上に出てVより入る

参加費 無料(定員170名、要予約)

主催 厚生労働省  
文部科学省

後援(予定)  
金融庁/消費者庁/法務省/  
朝日新聞社/産経新聞社/  
日本経済新聞社/毎日新聞社/  
読売新聞社/中日新聞社/  
信濃毎日新聞社/時事通信社



参加方法 FAXかインターネットでお申し込みください。  
1. FAXの場合…裏面の申込書に必要事項をご記入いただきお申し込みください。  
2. インターネットの場合…以下のURLからお申し込みください。  
<https://izon.seedplanning.co.jp/sanka/>



プログラム 依存症の予防と正しい理解、回復のための支援

開会挨拶 厚生労働省  
文部科学省

第1部 基調講演

13:05~ 文部科学省 依存症予防教育推進事業成果事例報告  
全国薬物依存者家族会連合会  
ASKふくおか/おきなわASK  
ギャンブル依存症問題を考える会

13:50~ 厚生労働省  
「薬物依存症の理解と支援に向けて ~回復支援につなげるために~」  
松本 俊彦 氏 (国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部部長)

14:30~ 休憩 (10分間)

第2部 依存症の正しい理解と回復を支える声

14:40~ 小林 郷志 氏 (山梨ダルク 施設長)  
池田 文隆 氏 (グレイス・ロード センター長)  
小松 恵永 氏 (信濃毎日新聞社 編集局報道部次長)  
前園 真聖 氏 (ビデオメッセージ (依存症理解啓発サポーター))

第3部 回復者からの表現メッセージ

15:40~ ダルクからの太鼓の演舞 (富山ダルク)

16:00~ 休憩 (10分間)

第4部 パネルディスカッション

16:10~ 「依存症の予防と正しい理解、回復への支援に向けて」

<コーディネーター> 松本 俊彦 氏 (国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部部長)

<パネラー> 田中 紀子 氏 (ギャンブル依存症問題を考える会代表)  
小林 郷志 氏 (山梨ダルク 施設長)  
池田 文隆 氏 (グレイス・ロード センター長)  
北垣 邦彦 氏 (東京薬科大学薬学部教授)  
橋本 卓爾 氏 (大阪府立清水谷高等学校校長)  
大学生

# 依存症の理解を深めるための 普及啓発シンポジウム

お問い合わせは、「依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム」事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル4F (株)シード・プランニング内 担当:大貫、登坂、末田

Tel:03-6821-5148 (事務局直通)、03-3835-9211(代表)、Fax:03-3831-0495 Mail:info@izon.seedplanning.co.jp

小林 郷志 氏 (山梨ダルク 施設長)  
池田 文隆 氏 (グレイス・ロード センター長)  
北垣 邦彦 氏 (東京薬科大学薬学部教授)  
橋本 卓爾 氏 (大阪府立清水谷高等学校校長)  
大学生

2/2

の理解を深めるための普及啓発シンポジウム」事務局

〒湯島3-19-11 湯島ファーストビル4F (株)シード・プランニング内 担当:大貫、登坂、末田

Tel:03-6821-5148 (事務局直通)、03-3835-9211(代表)、Fax:03-3831-0495 Mail:info@izon.seedplanning.co.jp

## パネリストの皆様をご紹介します

### <コーディネーター>

#### 松本 俊彦



国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長/同病院 薬物依存症治療センター センター長。佐賀医科大学卒業。国立横浜病院精神科、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科などを経て現職。

#### 田中 紀子



公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会代表理事。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 研究員。祖父、父、夫がギャンブル依存症であり、自身もギャンブルと買い物依存症から回復した経験を持つ。著書に「三代目ギャンブルの物語(高文研)」「ギャンブル依存症(角川新書)」がある。

#### 小林 郷志



NPO法人山梨ダルク・デイケアセンター(甲府市地域活動センター)施設長。薬物・アルコール依存症からの回復当事者、ピアカウンセラー。自身の服役経験を基に、矯正施設や教育機関など各所に「薬をやめられる」「人生を変えられる」「幸せになる」といった希望のメッセージを運んでいる。

#### 池田 文隆



一般社団法人グレイス・ロード グレイス・ロード甲斐サポートセンター センター長。ギャンブル依存症の当事者。ピアカウンセラー。佐賀大学経済学部卒業。元警察官。ギャンブル依存症で人生が破綻するも、グレイス・ロードの回復プログラムで教わった経験を活かし、ギャンブル依存症者の回復支援に携わる。

#### 北垣 邦彦



東京薬科大学薬学部教授。薬剤師、薬学博士。独立行政法人医薬品医療機器総合機構、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官を経て現職。著書に「危険ドラッグ問題の表と裏～学生に知ってほしいこれからの薬物乱用防止について～(薬事日報社)」がある。

#### 橋本 卓爾



大阪府立清水谷高等学校校長、大阪府立高等学校保健会会長。大阪府立高等学校保健体育科教諭、なみはや国体局スポーツ主事、大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課の学校保健学校安全担当指導主事、主任指導主事、首席指導主事、大阪府立吹田東高等学校校長、大阪府立刀根山高等学校校長を経て現職。

一緒に支援策を考えてください。会場でお待ちしております。

※本申込書に記載された個人情報は、本シンポジウムの参加者の把握及び緊急連絡のみを目的として使用し、厳重に取り扱うものとします。

依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム

参加お申込フォーム (FAX:03-3831-0495)

■ ご氏名 複数のお申し込みの場合は、他の方々のお名前もお書きください。

■ お立場 複数のお申し込みは、代表者のお立場をお書きください。

行政 教育 医療 福祉 当事者・家族 回復施設  
アディクション関係団体 酒類関係 学生 一般 報道  
その他( )

■ お住まい、もしくは、所属先の都道府県

■ ご連絡先 メールアドレスまたは電話番号・FAX番号

■ 障害をお持ちの方や妊産婦の方など、配慮を必要とされる場合はご記載下さい